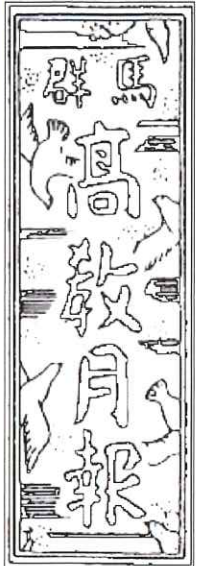


対県教委 夏季要請行動



前橋市大手町 3-1-10
群馬高教組
027-231-2784
ghtu@educas.jp
http://www.ghu.org/



8月7日(水) 対県教委夏季要請行動が昭和庁舎で行われました。前半は水田委員長から羽鳥総務課次長に「2024年度 群馬高教組・夏季要請書」と「職場要請書」が手渡された後、管理課に対して主に施設・設備改善の要請行動を行いました。後半は総務課・学校人事課・高校教育課に分かれて要請行動を行いました。要請行動や交渉では現場の声を集約していくことが大事です。今後もご協力をお願いすると共に、分会でも管理職と交渉や対話を重ね、働きやすい職場を求めていきましょう。

水田委員長から 県教委羽鳥総務課次長に2024要請書を手渡しました

第1部 「施設・設備、教育諸条件に関する要請」 「管理課、総務課」 渉工分会

実習では付きっ切りで見えないけれども、30人学級が望ましい。大会議室のエアコンが壊れたまま、公仕室のエアコンがない、GIGAスクールが無線LANが使用できない点を改善してほしい。教室のプロジェクトを黒板の上に固定してほしい。

前工分会

工業高校の学級減は学科減となり、受験生が希望する科を受けられない、施設設備が活用されなくなるなど様々な問題を引き起こす。少人数学級を速やかに実現してほしい。工業化職員室の近くに女性教職員用のトイレを設置してほしい。

伊工分会

実習教員が異動し、後任補充がないことや、担任教諭が病休に入り、復帰の見通しがないことで負担が増えている。式典では校庭のサッカーグラウンドを臨時駐車場として使用できないが、メンテナンス費用を確保してほしい。

伊商分会

非常勤講師が使用するパソコンは共用で、成績処理などの業務に支障がある。Kinakoも必要ないと言われたが、



重要な情報を共有できない。待遇改善が必要だ。合宿所のお湯が出ない、グラウンドに天蓋ネットがないことも早急に改善してほしい。

玉村分会

全日制普通科2クラスの学校で定員80人は玉村だけだ。職員室は人が歩く揺れを感じる。転動してきた人は地震だと勘違いしたりする。休憩室にはエアコンがなく、体調を崩した場合合休む場所がない。

高経附分会

安中や前橋から自転車通学してくる生徒がいる。南牧村の人は子どもが高校に入ると高崎へ引越すという話を聞いた。全県1区は問題があるのではないかと。エレベーターや太陽光発電パネルの設置を進めるべきだ。

清陵分会

非常勤講師が多い学校だが、パソコンもKinakoも蚊帳の外で研修もない。若手や分掌の長への負担が大きいので、事務作業を担当する人を配置してほしい。水回りがひどく、生徒が水を飲むのをためらい、トイレを使いたがらない状況だ。大至急整備してほしい。

安総分会
国語の先生が産休に入り、非常勤講師が18コマ持っている。入試の採点業務は深刻で、常勤の配置が必要である。教室ストローブやトイレの整備も緊急を要する。空調服の貸与は実習教員にもするべきだ。被服貸与はないという雰囲気のある学校もあるので、予算面で配慮してほしい。

清明分会

生徒の多様化や採点システム導入など、業務量が増えて複雑化しているのに対し、明らかに教員が不足している。体育館と公仕室のエアコン設置、プロジェクトの充実をお願いしたい。



高東分会

BYOD専用オンライン窓口を開設し、教職員が設定の不具合に対処せずに済む環境を保障し、具体的な手立てを講じてほしい。体育館やトイレの老朽化が激しいので改修してほしい。

第2部 「各課要請」 「総務課」

県教委からは羽鳥次長を始め3名が出席し、高教組からは神保さん、山口さん、坂本さんの3名が要請を行いました。休日に部活動の指導しながら並行して進路部の事務作業をやらなくてはならない。土曜学習、朝夕の補習、長期休業中の補習などで時間外勤務を強制されている。修学旅行や部活動の合宿などではその勤務実態と勤務振替の時間が合っていない。非常勤教職員が夏季雇止め中にもかかわらず生徒の指導をしている。日本語が話せないなど、多様化する生徒への対応が増加している。これら教育現場の厳しい勤務実態を指摘しました。その改善のため、教員の数を増やし、短時間勤務の定数除外や非常勤の待遇改善を要請しました。また、今年度から定年が延長されましたが教職員は延長せず退職した者が少なからずいる中で、行政職はほとんどいなくなったそうです。このことから教育現場の困難さは明らかです。

「学校人事課」

県教委からは立見次長を始め9名が出席し、高教組からは萩原書記長始め8名が要請を行いました。

○原田(安総) 公仕の年齢分布を出してほしい。民間委託について考えているのか不安である。(県教委は今までと変わっていないと回答)

○澁谷(安総) 定時制勤務だが、再任用2人・定年延長の人など平均年齢は57歳くらいだ。地公臨の人は夏は休みで働いていない。なぜこうした人事なのか、人がいないのか？(県教委は一般論として希望者が少ないと回答)

○大島(前女) パワハラについて資料を配布して経過説明。被害者が安心して相談できるようにしてほしい。隠蔽した方が得するようなシステムはまずい。(県教委は個別の案件には答えられないが、福利課にも連絡し、改善に努めたいと回答)

○坂田(清陵) 非常勤講師について資料を配布して説明。アンケートの結果は入選日振替できたが52%、できなかったが4人、次年度希望調査は評価されているが、採用決定が遅く不安という状況がある。システムをつくるだけでは学校間格差が生じ、周知徹底が求められる。外部監査で附随する業務に関する調査があり、

私にも聞き取りがあった。

○萩原書記長 市立から県立へ鞍替えすると現給保障がなくなるというのは本当か？入選当日の振替について、期末の採点が自宅というのはまずいのではないかと。(県教委は鞍替えは現給保障なし、自宅採点は確かに変と回答)

○牧野(清陵など5校) 収入が必要なので、5校で14コマ非常勤をしている。現給保障の経過措置で年収が下がるのがつらい。テストに関わる時間が大きく、手当がほしい。通勤時間も考慮してほしい。

○春山(渋谷など3校) 東京や埼玉のように一時金を支給してほしい。実質賃金は下がっているので正規のように上げてほしい。期末考査づくりは大変。適切に評価して手当を出してほしい。パソコン順



番待ちの時もある。採用決定が遅すぎる。

○東宮(部活指導) 恣意的な人事をしてはいけない。事前に丁寧に説明し、ルールに基づいて進めてほしい。リーズナブルな人事を希望する。群馬の内示全体が他県に比べて遅いのが問題で、その最後のしわ寄せが非常勤に来てドタバタする。欠員が生じるのは県教委の責任だ。外部コーチの決定も遅い。去年から採用していれば4月から採用できた。総体後ではまずい。

○県教委は外部コーチの件を健康体育課に伝えたと回答)

「高校教育課」

県教委からは桑子次長を始め4名が出席し、高教組からは水田委員長始め4名が要請を行いました。

○八重樫(渋谷) BYODはお下がりや家のものなど色々あり、15インチのをしよってくる子もいる。6月末から使えるようにしたが、机が小さく落として液晶が割れるケースもあった。マニュアル通りにいかず、機種が違うと答えられないこともある。残ったクロムブックはどうするのか？貸し出して壊したらどうするのか？(毒島主事がBYODの進捗状況を視察に行くと述べた上で、更新しないのでは壊れたらしょうがないのではと個人的見解を示しました)

○大貫(渋谷) 広域通信2校(のぞみと鹿島)で非常勤講師登録している。スクリーニング会場の設備はよく、高崎・伊勢崎・桐生の子もいる。少子化よりも公立離れが進んでいる方が深刻だと思う。

○水田委員長 定期考査で百問繚乱を利用した人もいたが、入試でも使う方向なのか？記述や部分点はどうするのか？入試と合格発表が卒業式を挟むのも気がかりだ。教務が多忙すぎる。(県教委は入試で使う方向と回答)

○今井(前工) 2クラス4校の32人学級から22人学級への移行など、来年度の募集定員を工夫した点は評価したい。2クラス学級の学校で玉村だけ40人学級を残したのは問題で、上からの押し付けでなく、学校の意見も聞いた上でそれを尊重するべきだ。男女共学も前橋・高崎・太田をどうするのか計画先送りで議論もしないのは民主的ではない。広域通信への流れを食い止めるためにはきめ細やかな現場の対応が求められるが、長野や岐阜は調査書の欠席欄を廃止した。県教委としてどんな工夫ができるのか考えてほしい。

○大貫(渋谷) 広域通信2校(のぞみと鹿島)で非常勤講師登録している。スクリーニング会場の設備はよく、高崎・伊勢崎・桐生の子もいる。少子化よりも公立離れが進んでいる方が深刻だと思う。

教育のつどい2024in大阪

A分科会「参加と共同の学校づくり」参加報告

伊勢崎工業高校 萩原 正人

昨年、東京のつどいで来年も同じ分科会に参加すると約束したとおり、「組織的な対応」を巡る数年前の実践をレポートしました。転学を希望する生徒に対し、学校として何をどこまでできるのかという問いに対する答えは未だ見つかりませんが、担任として関わった当時の苦い思いを開放することで、参加者からは一定の共感が得られたように思います。いじめとは断定できないレベルの関係性だからこそ、神経をよりすり減らす構造があるという発言に勇気を貰いました。傷ついた心から絞り出したメッセージを受け止めてもらえたように感じました。

共同研究者のお一人からいくつか質問をいただき、受け答えする中で「う～ん」と考え込まれる場面があり、うまく伝わらなかったのかと危惧しましたが、最後のコメントには温かな手ごたえを感じました。あれはまとめのコメントを丁寧に組み立てるための「う～ん」だったのでしょうか。今回はレポーター1、教文担当1の2名参加でしたが、

次年度はぜひ参加者を増やしたいと考えています。神保教文部長も「参加すれば得られる貴重な経験が必ずある」と語っていましたが、私の「蔵出しレポート」は今回で底を尽く予定でしたが、また来年に向け追加の2本を仕込み中です。次年度の開催地は未定ですが、8月15(金)～17(日)の日程はほぼ決まっています。

ぜひ一緒に参加しましょう！できればレポ友として。

共同の学校づくり

《分散会②》



14:20～15:10
休 10分
15:20～16:00
16:05～16:45
16:50～17:30
17:30 退出